

第4次光市地産地消プラン 中間案から最終案までの変更点

頁	旧	新
3	(1) 自然条件	
	月平均気温の年較差は <u>22℃</u> 前後で	月平均気温の年較差は <u>21℃</u> 前後で
3	気象統計(年別)	
		(出典：光地区消防組合)
9	① 主な取組	
	○ 林業では、計画的な森林整備を行うとともに、	○ 林業では、「 <u>光市森林整備計画</u> 」及び「 <u>森林経営計画</u> 」に基づく計画的な森林整備を行うとともに、
11	③ 取組の評価	
	これまでに就業した新たな漁業者による意欲的な活動が漁業全体に活力を与え、 <u>漁獲高は回復傾向にあります。</u>	これまでに就業した新たな漁業者による意欲的な活動が漁業全体に活力を与え、 <u>新たな取組が進められています。</u>
13	① 主な取組	
	6次産業化に向けた調査研究や新たな商品開発、 <u>販路拡大等への支援を行いました。</u>	6次産業化に向けた調査研究や新たな商品開発への支援のほか、 <u>展示会・商談会への出展の支援等、販路拡大を促進しました。</u>
13	② 目標の達成状況	
	地産地消推進店等の認証店舗数 近況値 <u>4</u> 目標値との比較 <u>↓21</u>	地産地消推進店等の認証店舗数 近況値 <u>5</u> 目標値との比較 <u>↓20</u>
14	③ 取組の評価	
	山口県が認定する「 <u>やまぐち食彩館</u> 」は <u>1店舗の増加</u> に留まりました。	山口県が認定する「 <u>やまぐち食彩館</u> 」等の <u>地産地消推進店</u> は <u>2店舗の増加</u> に留まりました。
14	① 主な取組	
	消費拡大に向けた情報発信などの取組を <u>推進</u> しました。	消費拡大に向け、ひかりふるさとまつりや <u>地産地消イベント</u> 等において、 <u>光産米の提供や販売、魚のせりの実施</u> などを通じた情報発信を行いました。
14	① 主な取組	
	○ <u>規格外の生産物で流通しない農林水産物や過剰生産物の加工</u> により、 <u>食材の有効活用を促進</u> したほか、 <u>地元産農林水産物</u> を	○ <u>里の厨</u> では、 <u>規格外の生産物で流通しない農林水産物や過剰生産物の加工</u> により、 <u>食材の有効活用を促進</u> したほか、 <u>毎月19日の「食育の日」</u> に合わせ、 <u>地元産農林水産物</u> を

第4次光市地産地消プラン 中間案から最終案までの変更点

頁	旧	新
15	② 目標の達成状況	
	地産地消の普及・啓発イベントの開催数 近況値 2 目標値との比較 ↓10	地産地消の普及・啓発イベントの開催数 近況値 3 目標値との比較 ↓9
26～ 28		小・中学生向けアンケート結果
33	(4) 「消費」:地元の消費者に選ばれる仕組みづくり	(4) 「消費」:地元の消費者が地元のものを選ぶ仕組みづくり
	フードマイレージの低減により、環境負荷の低減につながります。「地産地消」の意義の周知や情報発信により、地元の消費者が好んで地元のものを選ぶ仕組みづくりを進めます。	フードマイレージの低減等により、環境負荷の低減につながります。「地産地消」の意義の周知や食育推進等により、地元の消費者が好んで地元のものを選ぶ仕組みづくりを進めます。
35	(1) 生産規模の拡大と生産性の向上	
	中心的な担い手への農地の集積を促進し、必要な生産体制の整備を推進するなど、	農地と人のマッチングにより中心的な担い手への農地の集積を促進し、農地や農業用施設、森林・保安林、漁港施設等、必要な生産体制の整備を推進するなど、
36		ピックアップ
		スマート農業
37		ピックアップ
		光のいちごと甘酒
40		ピックアップ
		農業体験研修

第4次光市地産地消プラン 中間案から最終案までの変更点

頁	旧	新
41	農業:光ひまわりプロジェクト ・種子から「ひまわり油」を商品化、ひまわり油で揚げた規格外ハモの鱧井の特産品化、給食への活用	○ ひまわりの種子や油の活用、商品化(ひまわり油で揚げた規格外ハモの鱧井の特産品化、給食への活用等)
41	農業:光ひまわりプロジェクト ・農業振興拠点施設「里の厨」でも取り組むことで、来店客の増加や観光地化などの相乗効果	○ 農業振興拠点施設「里の厨」でも取り組むことによる来店客の増加や観光地化の推進
41	林業:森林チッププロジェクト 資源の地産地消を推進します。	資源の地産地消を促進します。
41	林業:森林チッププロジェクト ・チップの雑草防止効果を活用することで、農地の管理で大きな負担になっている草刈作業を削減	○ チップ散布から得られる雑草抑制効果による草刈作業の負担軽減
41	水産業:光の海の体験プロジェクト 魚や海への関心の低下が懸念されます。その対策に、光の海での体験として、かつて光市で行われていた「地引網」を活用することで、子どもたちに光の海や魚を身近に感じてもらうことで、海への関心を高めます。	魚や海への関心の低下が懸念されています。子どもたちに光の海や魚を身近に感じてもらうため、かつて光の海で行われていた「地引網」を活用した海を体験する機会を創出し、その体験を通して魚や海への関心を高めます。
41	水産業:光の海の体験プロジェクト ・長い砂浜を必要とする	○ 広い砂浜を必要とする
42	1 目標の評価指標	「柱」列の追加